

小水力発電実証実験

施策のポイント

豊富な水資源が存在する山間地域にとって、それらを有効活用するために小水力発電が地域の活性化に役立つとして、その有効利用と地域コミュニティや地場産業、観光産業への活用を目指す調査を実施する。

自治体情報

徳島県 神山町

人口 / 6,596人

標準財政規模 / 3,053,353千円

担当課 総務課

電話番号 代表 088-676-1111 内線 213

実施主体 神山町

関連ホームページ

事業期間 平成 22 年度

参考とした施策

関係施策分類

施策の概要

1 取組に至る背景・目的

平成 17 年に「神山町地域新エネルギービジョン」を策定し、マイクロ水力発電の導入も検討してきたが、比較的規模の大きいものでありコストバランスが良くない結果であった。そのため実質的な取り組みには至っていない。もっと小規模で農業用水路等で 10kw 以下の発電が確保でき、導入コストが安ければ、農業用電源や地場産業、観光産業などにも役立つことから、実証実験を行う。

2 取り組みの具体的内容

(1) 小水力資源の利用可能量等の調査

小水力資源のうち、農業用水路を活用した小水力発電に着目し、利用可能量等を調査する。

- ① 最新の航空レーザ測量成果及び航空写真、その他既存の地形図や地理情報（GIS 情報）等を活用した効率的な調査により、地形・社会条件の特性及び小水力資源のポテンシャルを把握する。
- ② ①で整理した地形・社会条件の特性および小水力資源のポテンシャルを図面に明示し、神山町小水力資源ポテンシャルマップを作成する。

(2) 小水力資源活用実証調査

① 農業用水路などの有効利用による小水力発電の試験

ポテンシャルマップによる適地検討を行い、2箇所（設置規模、施工性を考慮し、業務期間内に十分な実証試験が可能な地点とする）について水力発電機を設置し、実証試験を実施する。

② 地域活性化への活動手法の検証

発電したクリーンエネルギーを観光資源等に活用することで地域活性化に結びつける方法を検討する。

3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

農業や観光、地域コミュニティの再生に利用する。具体的には、農作物の照明や観光資源としてのライトアップに利用し、自然と調和したエネルギーを地産地消する。また、余剰電力の売電により地域コミュニティ活動への財源としても期待している。

4 今後の展開と課題

大学、県、町、地域づくり団体、地元住民で組織する小水力資源活用検討委員会により、クリーンエネルギーの有効利用を見だし、過疎地域の活性化に結び付けると同時に、CO₂削減に向けた町独自の先進的な取り組みとしたい。

施策事例
1

施策事例
2

施策事例
3

施策事例
4

施策事例
5

施策事例
6ア

施策事例
6イ

施策事例
6ウ

施策事例
6エ

施策事例
6オ

予算関連データ

総額 ①～⑤の計		財源内訳（財源区分：①～⑤）				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
11,250 千円		11,250 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
①～④の名称、 所管など	名称	緑の分権改革推進事業				/
	所管	総務省				
	金額	11,250 千円				
	補助率	10/10				